

愛知大学 3つのポリシー（2024年度以降）

■大学院 文学研究科 日本文化専攻

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）
<p>【修士課程】 文学研究科日本文化専攻（修士課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた大学卒業後あるいは学士取得者、または大学卒業者と同等以上の学力があると認められた方を、各種選抜試験を通じて受け入れます。</p>
<p>1. 求める学生らの像</p> <p>(1) 本専攻進学に先立って、学部教育における一般教養と専門分野の基礎的知識を備えている人。</p> <p>(2) 専攻の個別専門分野である日本歴史、日本語学、日本文学を中心に、古代から近現代に至るまで、日本文化における独自性や多面性などの諸問題について総合的に把握する意欲を有する人。</p>
<p>2. 入学前までに修得すべき能力</p> <p>(1) 日本歴史や地理学を学習するために必要な基礎的な知識。</p> <p>(2) 日本語学や日本文学を学習するために必要な基礎的な知識。</p> <p>(3) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的な能力。</p> <p>(4) 自分の意見などを発表するための基礎的な能力。</p> <p>(5) 他者の意見などを聞き対話するための基礎的な能力。</p>
<p>3. 選抜方法</p> <p>(1) 一般・外国人留学生選抜 外国語、専門科目、口述試験及び出願書類により総合判定して合格者を決定します。</p> <p>(2) 社会人特別選抜 専門科目、口述試験及び出願書類により総合判定して合格者を決定します。</p>
<p>【博士後期課程】 文学研究科日本文化専攻（博士後期課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた修士取得者、または修士取得者と同等以上の学力があると認められた方を、各種選抜試験を通じて受け入れます。</p>
<p>1. 求める大学院生らの像</p> <p>(1) 修士の学位を取得した上で、修士論文を基に、専門的な知識、史資料や文献読解などの研究技能、および思考力・分析力などの研究能力についてのさらなる向上が見込める人。</p> <p>(2) 日本文化に関する専門的な教養を有した上で、さらにそれをより広い文脈の中で相対化し、横断的に隣接諸分野へと架橋し得る柔軟性と思考力を有する人。</p> <p>(3) 日本文化に関する専門的研究をさらに高度に深め、研究者として当該分野における研究を進展させ得る能力を有するとともに、教育者として高等教育においてその能力を発揮しようとする意欲を持つ人。</p>
<p>2. 入学前までに修得すべき能力</p> <p>(1) 日本歴史や地理学を学習するために必要な専門的な知識。</p> <p>(2) 日本語学や日本文学を学習するために必要な専門的な知識。</p> <p>(3) ものごとを自ら論理的に考えるための専門的な能力。</p> <p>(4) 自分の意見などを発表するための専門的な能力。</p> <p>(5) 他者の意見などを聞き対話するための専門的な能力。</p>
<p>3. 選抜方法 外国語、口述試験及び出願書類により総合判定して合格者を決定します。</p>

■大学院 文学研究科 地域社会システム専攻

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）
<p>【修士課程】 文学研究科地域社会システム専攻（修士課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。</p>
<p>1. 求める学生像</p> <p>(1) 本研究科で学ぶために必要な学力を身につけている人。</p> <p>(2) 地域社会への強い関心を持ち、地域社会の構造と変動過程について、主体的に研究する意欲がある人。</p> <p>(3) 地域社会に関する多様な分野の専門知識を修得して、地域社会への貢献を目指す人。</p>

愛知大学 3つのポリシー（2024年度以降）

<p>2. 入学前までに修得すべき能力</p> <p>(1) 人文・社会系の学問を学習するために必要な基礎的な知識。</p> <p>(2) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的な能力。</p> <p>(3) 自分の意見などを発表するための基礎的な能力。</p> <p>(4) 他者の意見などを聞き対話するための基礎的な能力。</p>
<p>3. 選抜方法</p> <p>(1) 一般・外国人留学生選抜 外国語、専門科目、口述試験及び出願書類により総合判定して合格者を決定します。</p> <p>(2) 社会人特別選抜 口述試験及び出願書類により総合判定して合格者を決定します。</p>
<p>【博士後期課程】</p> <p>文学研究科地域社会システム専攻（博士後期課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。</p>
<p>1. 求める学生像</p> <p>(1) 地域社会の多様な分野に関する幅広い知識を修得している人。</p> <p>(2) 地域社会の諸問題について、客観的な分析にもとづいた論理思考により、独自の見解を体系化できる能力がある人。</p> <p>(3) すでに修得した専門知識をより深めながら教育職や研究職に就く意思がある人。</p>
<p>2. 入学前までに修得すべき能力</p> <p>(1) 人文・社会系の学問を学習するために必要な基礎的な知識。</p> <p>(2) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的な能力。</p> <p>(3) 自分の意見などを発表するための基礎的な能力。</p> <p>(4) 他者の意見などを聞き対話するための基礎的な能力。</p>
<p>3. 選抜方法</p> <p>外国語、口述試験及び出願書類により総合判定して合格者を決定します。</p>

■大学院 文学研究科 欧米文化専攻

<p style="text-align: center;">入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）</p>
<p>【修士課程】</p> <p>文学研究科欧米文化専攻（修士課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。</p>
<p>1. 求める学生像</p> <p>(1) ヨーロッパとアメリカの文化一般を、思想・文学・言語学の各分野で幅広く研究を行う意思を持つ人。</p> <p>(2) 欧米の文化の諸相をその歴史を通して相対的に究明し、それを礎にして教育的実践や新たな文化の発展に寄与し得る潜在能力を持つ人。</p> <p>(3) 学部教育における一般教育と専門的知識を十分備えている人。</p> <p>(4) 欧米の原典を読むに先立って、相応の外国語能力を持っている人。</p>
<p>2. 入学前までに修得すべき能力</p> <p>(1) 人文・社会系の学問を学習するために必要な基礎的な知識。</p> <p>(2) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的な能力。</p> <p>(3) 自分の意見などを発表するための基礎的な能力。</p> <p>(4) 他者の意見などを聞き対話するための基礎的な能力。</p>
<p>3. 選抜方法</p> <p>(1) 一般・外国人留学生選抜 外国語、専門科目、口述試験及び出願書類により総合判定して合格者を決定します。</p> <p>(2) 社会人特別選抜 口述試験及び出願書類により総合判定して合格者を決定します。</p>
<p>【博士後期課程】</p> <p>文学研究科欧米文化専攻（博士後期課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。</p>
<p>1. 求める学生像</p> <p>(1) 欧米の文化一般の幅広い知識を備えていることを前提とし、さらに専門的研究を深めていく強い意思を持っている人。</p> <p>(2) 客観的な批判と分析に基づいた論理的思考により、研究対象を体系化し得る潜在能力を持っている人。</p> <p>(3) 指導的立場に立って文化創造をしたり、教育職や研究職に就く強い意志を持つ人。</p>

愛知大学 3つのポリシー（2024年度以降）

2. 入学前までに修得すべき能力

- (1) 人文・社会系の学問を学習するために必要な基礎的な知識。
- (2) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的な能力。
- (3) 自分の意見などを発表するための基礎的な能力。
- (4) 他者の意見などを聞き対話するための基礎的な能力。

3. 選抜方法

外国語、口述試験及び出願書類により総合判定して合格者を決定します。